

カリキュラム

コースコード：25-144

タイトル	生産計画の立て方と納期管理の進め方				
サブタイトル	「納期を守る仕組みづくり」と「生産性を向上させるリードタイム短縮の進め方」				
研修のねらい	必要なモノを、必要な時に、必要な数量だけ欲しいという顧客ニーズにより、受注の多品種化と短納期化が進み、生産現場では生産計画の複雑化が生じています。 本研修では、生産管理の全体像を押さえた上で、生産計画の立て方と納期管理(工程管理)の実践法を演習を交えて学び、納期遅れが発生する要因の捉え方と対応策の考え方を踏まえ、自社の改善策を検討します。また、外注管理(外注指導)と購買管理のあり方、生産性の指標である時間あたりの限界利益の求め方・上げ方等、生産管理・納期管理に関連する分野を広く学びます。				
研修の特徴	・生産管理（生産計画、手配管理、進捗管理）の全体像(相互関係)と各々の機能(役割)が把握できます。 ・生産スケジュールの立て方とその管理の仕方について理解できます。※ 生産スケジュール（主に中日程計画と小日程計画） ・納期管理の改善とリードタイム短縮の実践方法を研修中、随所で紹介します。 ・グループ討論の回数と講師への質問回数や時間が多い研修です。				
対象者	管理者、新任管理者層 ・工場長や製造部門の責任者・生産管理者・工程リーダーの方 ・納期遅れに悩んでいる企業の方 ・短納期化に取り組もうとしている企業の方 ※ 2 人でのご参加をおすすめします	定員	20 名		
		研修期間/時間数	2026年1月14日(水)～ 16日(金)		
			3 日	21 時間	
		会場	中小企業大学校瀬戸校 大教室		
		受講料	32,000円		
科目構成					
日付	時間	科目	内容	講師	
1/14 (水)	9時20分～9時40分	開講式・オリエンテーション		株式会社 実践マネジメント研究所 代表取締役 植條 英典	
	9時40分～12時40分 13時40分～17時40分	生産計画と工程管理	中小製造業における生産管理活動の目的・全体像と、現場の管理者の役割について学びます。 ・生産システムと生産管理 ・生産形態と工程管理 ・在庫保有のメリットとデメリット ・受注予測と生産計画のつくり方、実現方法		
	18:10～19:10	受講者交流会	受講者相互の情報交換と交流を深めていただく懇親会です。		
1/15 (木)	9時00分～12時00分 13時00分～17時30分	生産スケジュールの立て方と管理のポイント	自社の顧客ニーズや生産形態に適した生産計画の策定方法と、的確な生産統制のポイントを学びます。 ※ 生産統制（手配管理・進捗管理） ・日程計画と負荷能力調整 ・リードタイム短縮とロット生産への対応 ・手配管理と進捗管理の実践ポイント ・適正な在庫管理のあり方 ・生産管理課題改善策の検討（演習）		
1/16 (金)	9時00分～12時30分 13時30分～16時30分	自社の納期管理の改善検討（演習）	事例や演習を交えて納期遅れが発生する要因と対策の取り方を学び、自社の納期確保やリードタイム短縮に向けた改善策の検討に取り組みます。 ・多品種少量生産への対応 ・納期遅れの要因と対策 ・リードタイム短縮と在庫管理 ・自社の納期管理の改善検討 等		
	16時40分～16時50分	閉講式			
講師氏名		略歴			
植條 英典 （うえじょう ひでのり） 株式会社実践マネジメント研究所 代表取締役		1958年岡山県生まれ。大学で生産管理、IE技法、QC手法を学ぶ。中堅家具メーカーの経営企画室にて経営管理業務に従事した後、中村技術士事務所に入所し、平成16年に実践マネジメント研究所を設立、平成28年に法人化。 生産管理、生産性向上対策、管理者育成、品質改善、5S改善を中心に全国各地でコンサルタント活動を行う一方、中小企業大学校、近畿職業能力開発大学校、日本IE協会、大阪府工業協会、兵庫工業会、各地の産業振興財団、商工会議所、商工会、海外研修（マレーシア）等でのセミナー講師としても活躍中。 モットーは「常に企業は人なり」「改善に終わりなし」「改善で企業と人は育つ」「ご安全に！！」			